

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	060301 交通安全施設整備事業		新規/継続
			継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち		
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 道路・河川施設担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
	(国) 道路法第16条		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市・道路管理者が設置する交通安全施設
事業内容・活動手段	道路附属物である交通安全施設の施設整備。
目的・意図	本事業は、交通安全施設を新設整備することにより、交通事故の発生抑制を図り、安全・安心な交通環境の向上を図ることを目的とする。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	道路反射鏡・防護柵等の設置数		単位	箇所
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	54	71	44	

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	施策成果等アンケート調査による市内の道路を通行するときに危ないと思う市民の割合		単位	%
指標の種類	減少を目指す指標		現年度目標値	71
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標値	60	71	71	
実績値	71	未把握	76	

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		16,033	22,592	15,822
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	1,256	3,090
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	14,777	19,502
	一般財源	0	0	0
人件費(理論値)②(千円)		4,509	3,050	3,110
トータルコスト①+②(千円)		20,542	25,642	18,932
単位当たりコスト(円)		380,407	361,155	430,273
目標達成率(%)		85	-	93

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
道路パトロールによる巡回や市民からの要望を受け、道路利用者の安全性の向上を図る必要性から改善・改正の余地はない。				交通危険箇所を把握し、対策を講じることは道路管理者の責務であるため、今後も事業を継続していく必要がある。	
効率性	2	達成度	3		
説明					
活動指標となる施設整備の箇所数やその整備内容は年度により異なる。令和2年度は、要望及びパトロール結果の集計に基づく整備件数は減少しているが、1箇所あたりの事業費と事業量が増加した。一方、人件費は、大幅な変動は生じていない。以上により、結果として修繕箇所数の減少により単位当たりコストは増額となった。					

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	060302 交通安全施設維持管理事業		新規/継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち		継続
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 道路・河川施設担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期 (国) 道路法第16条・42条		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input type="checkbox"/> その他()		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当	

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	道路管理者が管理する交通安全施設
事業内容・活動手段	道路附属物である交通安全施設の維持管理(修繕、定期点検等)。
目的・意図	本事業は、交通安全施設を適正に維持管理することにより、交通事故の発生抑制を図り、安全・安心な交通環境の向上を図ることを目的とする。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	交通安全施設(反射鏡・防護柵等)の修繕数		単位	箇所
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	110	88	55	

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	交通安全施設の維持管理に起因する賠償件数		単位	件
指標の種類	減少を目指す指標		現年度目標値	0
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	0	0	0	
実績値	0	0	0	

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)① (千円)		10,634	9,617	11,293
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		10,634	9,617	11,293
人件費(理論値)② (千円)		5,530	4,934	5,031
トータルコスト①+② (千円)		16,164	14,551	16,324
単位当たりコスト (円)		146,945	165,352	296,800
目標達成率 (%)		100	100	100

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明 道路パトロールによる巡回や市民からの要望を受け、道路利用者の安全性の向上を図る必要性から改善・改正の余地はない。				総合評価(課題・方向性) 市道利用者を交通事故から未然に防ぐため、設置した交通安全施設(道路反射鏡、防護柵等)を適正に維持管理することは、道路管理者の責務であるため、今後も継続していく必要がある。	
効率性	1	達成度	3		
説明 活動指標となる施設修繕の箇所数やその修繕内容は年度により異なる。令和2年度は、要望及びパトロール結果の集計に基づく修繕件数は減少しているが、1箇所あたりの事業費と事業量が増加した。一方、人件費は、大幅な変動は生じていない。以上により、結果として修繕箇所数の減少により単位当たりコストは増額となった。					

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	060303 交通安全対策啓発事業			新規/継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち			継続
施策名	06 生活の安全・安心の向上			
基本事業名	03 交通安全の推進			
所管課係名	管理課 管理調整担当	所管課長名	吉川 雅継	

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 終期			
	東久留米市交通安全計画			
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 行政補完的	<input type="checkbox"/> 政策的	給付事業 <input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 上乗せ	<input type="checkbox"/> 横出し	
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当	廃止予定の有無	<input type="checkbox"/> 該当	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金			
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市			
その他	実行プラン	<input type="checkbox"/> 対象	外部評価	<input type="checkbox"/> 対象 内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市民(自動車・バイク・自転車等の利用者、歩行者)
事業内容・活動手段	所轄警察署、東久留米市交通安全協会等とともに小学校を対象とした交通安全教室(歩行・自転車)及び中学校を対象としたスタントマンを活用したスクエアードストレイ方式による交通安全教室の開催、交通安全運動期間中における街頭指導を通じて啓発活動を実施した。
目的・意図	交通事故の発生の抑止を推進する。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	運転者講習会、交通安全キャンペーン等の開催日数			単位	日
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
	33	33	15		

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	交通事故による年間の死傷者数			単位	人
指標の種類	減少を目指す指標		現年度目標値	260	
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
	260	260	260		
実績値	301	297	228		

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		1,388	1,047	947
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		1,388	1,047	947
人件費(理論値)②(千円)		665	627	365
トータルコスト①+②(千円)		2,053	1,674	1,312
単位当たりコスト(円)		62,212	50,727	87,467
目標達成率(%)		86	88	114

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
市民を対象に交通安全の向上を図るため、所轄警察署、東久留米市交通安全協会等と連携し、交通安全啓発を行う事業のため、業務フローの改善及び制度改正の余地はない。				所轄警察署、東久留米市交通安全協会等とともに小学校を対象とした交通安全教室や中学校を対象としたスタントマンを活用したスクエアードストレイ方式による交通安全教室を開催するなど、小中学生に対して交通安全啓発活動を実施している。また、春と秋の全国交通安全運動、TOKYO交通安全キャンペーン(冬)等の期間中に広報及び啓発活動を行い、交通安全意識の向上、交通ルール・マナーの体得に効果がある。今後は事業の効率性の改善を図りながら、交通安全啓発活動を進め、交通事故の減少に努めていく。	
効率性	1	達成度	4		
説明					
活動指標である講習会等の開催日数については、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、削減したが、事業費は微減に留まった。また、人件費は令和2年度の係内事務分担の見直しにより減額となった。結果として単位当たりコストは増額となった。					

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	060304 交通安全協会支援事業		新規/継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち		継続
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 管理調整担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
	東久留米市交通安全計画、東久留米市交通安全協会補助金交付要綱		
補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 行政補完的	<input type="checkbox"/> 政策的
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 上乗せ	<input type="checkbox"/> 横出し
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 廃止予定の有無	<input type="checkbox"/> 該当
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン	<input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 外部評価
		<input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等
			<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	東久留米市交通安全協会
事業内容	様々な交通安全活動を行う東久留米市交通安全協会への一部補助を行う。
活動手段	全国交通安全運動、自転車安全利用キャンペーン等
目的	市民の交通安全意識の向上を図り、交通事故の発生の抑止を推進する。
意図	

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	補助金交付件数	単位	件
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	1	1	1

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	交通安全協会が各種行事で行った交通安全活動・キャンペーン等の活動日数	単位	日
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	40
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	40	40	40
実績値	40	40	40

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		1,800	1,800	1,800
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		1,800	1,800	1,800
人件費(理論値)②(千円)		886	897	274
トータルコスト①+②(千円)		2,686	2,697	2,074
単位当たりコスト(円)		2,686,000	2,697,000	2,074,000
目標達成率(%)		100	100	100

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明			総合評価(課題・方向性)		
東久留米市交通安全協会は、市内の交通安全の向上に向けて市民へ広報及び啓発等の様々な活動に取り組んでいるため、改善・改正の余地はない。			東久留米市交通安全協会は、市内において様々な交通安全広報及び啓発活動に取り組んでおり、市民の交通安全意識の向上に寄与している。今後も東久留米市交通安全協会への支援を通じて市域の交通安全の確保や市民の交通安全意識の向上に努めていく。		
効率性	5	達成度	3		
説明					
成果指標である東久留米市交通安全協会の活動日数の変更はなく、事業費は広報及び啓発等の様々な活動から、補助金交付限度額(予算限度額)となり、当面、横ばい傾向が続くものとする。 一方、人件費は令和2年度の係内事務分担の見直しにより減額となった。 以上により、結果として単位当たりコストは減額となった。					

令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	060305 新入学児童交通安全指導事業			新規/継続
				継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち			
施策名	06 生活の安全・安心の向上			
基本事業名	03 交通安全の推進			
所管課係名	管理課 管理調整担当	所管課長名	吉川 雅継	

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 終期		
	東久留米市交通安全計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市内小学校新入学児童
事業内容・活動手段	所轄警察署、東久留米自動車教習所、東久留米市交通安全協会等とともに毎年4月初旬に「交通安全の集い」を開催し、新入学児童に対する交通安全指導や交通安全に関する人形劇の講演等を実施。
目的・意図	交通事故の発生の抑止を推進する。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	新入学児童交通安全指導日数	単位	日
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	1	1	0

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	新入学児童交通安全指導参加人数	単位	人
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	50
	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	50	50	50
実績値	63	71	0

事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		694	724	484
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
	一般財源	694	724	484
人件費(理論値)②(千円)		177	179	182
トータルコスト①+②(千円)		871	903	666
単位当たりコスト(円)		871,000	903,000	-
目標達成率(%)		120%以上	120%以上	0

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
市内小学校新入学児童を対象に交通安全の向上を図るため、所管警察署、東久留米自動車教習所、東久留米市交通安全協会等と連携し、交通安全啓発を行う事業「交通安全の集い」のため、改善・改正の余地はない。				市内小学校新入学児童を対象に交通安全の向上を図るため、所管警察署、東久留米市自動車教習所、東久留米市交通安全協会等と連携し、交通安全啓発を行う事業である。本事業における人形劇の講演や信号機の渡り方等の体験から交通ルールを体得しており、交通安全運動に対して積極的に取り組んでいる。今後も本事業を継続し、児童の交通事故防止に努めていく。	
効率性	3	達成度	1		
説明					
活動指標である「交通安全の集い」は、例年1回開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、事業費は減額となっている。一方、人件費に大幅な変動は生じていない。					